

管路更生技術のデモ施工を再開しました

1. 趣旨

土木工学科では、メンテナンス時代の技術者を養成するために産官学が連携して土木工学全般のメンテナンス技術を教えています。

2. 概要

下水道事業は、建設からメンテナンスの時代にシフトしておりメンテナンスを担う技術者の需要が高まっています。下水道施設の中でも地下に埋設される下水道管路は目に見えない一方で老朽管路による道路陥没など市民の生活に直接的な影響があることから安定的な機能発揮が求められています。そのためには予防保全的なメンテナンスが重要であり高機能な新技術の開発や普及促進も必要です。本学ではこれらのニーズに応えるためには、まず技術者の卵たちに下水道管路メンテナンスに興味を持ってもらうことが大切だと考えています。

このような背景の下で、社会のニーズに合った下水道技術者を育てるために土木工学科では、同じ理念を持つ東京都下水道サービス株式会社(以下、TGS)と日本管路更生工法品質確保協会(以下、品確協)と協力協定を結び下水道管路メンテナンスの講義(管路更生大学)を実施することにしました。

管路更生大学の講義は、水環境浄化システムの一環として基礎知識を伝える3回の座学と管路更生技術の実演(デモ施工)で構成されています。

本講義は、2017年度より開始し18年度、19年度までは対面で実施してきましたが2020年度はコロナ禍のためにオンライン方式に変更しました。本年度は、万全のコロナ対策を講じてデモ施工を実施しました。



3者の調印式



教室での講義



管路更生工法の実演

3. 大学の地域貢献活動としての管路更生大学

大学の地域貢献という観点からデモ施工については、千葉市、市川市、習志野市に参加して頂きました。



自治体参加者

4. デモ施工

日時:2021年11月2日(火) 1限、2限

場所:日本大学 生産工学部 津田沼キャンパス 39号館北側広場
千葉県習志野市泉町 1-2-1



デモ施工の案内

受講生：マネジメントコース(20名)+自治体の皆さん(20名程度)

都市環境コース(43名)

*他に生産工学部の各学科の教員・学生



見学中の受講生

内容：

- ・更生工法の概要説明(10分)
- ・2工法のデモ施工(各30分)

工法：3Sセグメント工法、オールライナー工法



3Sセグメント工法



オールライナー工法